

「予防保全」で外壁仕上げ材の剥落事故を防ぐ

「外壁複合改修工法」は、劣化部のみではなく健全部も含む外壁全面を保全する工法である。これは「予防保全」と呼ばれ、劣化部のみを部分補修する在来工法による「事後保全」と比較し、外壁仕上げ材剥落事故に対する信用度が非常に高い。

マンション外壁等の仕上げ材剥落事故は近年多く発生しており、その対策は急務となっているが、外壁複合改修工法は開発されてからの約30年間、施工された建築物の大きな剥落事故は報告されておらず、採用実績も年々増加している。

外壁複合改修工法以下の3系統に分類され、それぞれ特長ある工法が開発されている。

■外壁複合改修工法の分類

系 統	工法名および企業・団体名		
ポリマーセメントモルタル系 ポリマーセメント系塗材を使用した外壁複合改修工法	ボンドカーボンネット工法 GNSピンネット工法	GNSピンネット工法	ネットバリヤー工法P1
	コニシ(株) コニシベステム工業会	全国ビルリフォーム 工事業協同組合	(株)リノテック
	コンスネット工法	エフ・ネットタイル工法	ネットバリヤー工法M2
	(株)コンステック	機能性外壁改修工業会 シーカ・ジャパン(株)	(株)リノテック
透明樹脂系 透明樹脂系塗材を使用した外壁複合改修工法 ※タイル張り仕上げ外壁対象	JKセライダー工法	JKクリアファイバーW工法	JKセライダーU工法
	日本樹脂施工協同組合	日本樹脂施工協同組合	日本樹脂施工協同組合
	ボンド アクアバインド工法	エバーガードSG-3工法	
不透明樹脂系 透明樹脂系塗材を使用した外壁複合改修工法	コニシ(株) コニシベステム工業会	機能性外壁改修工業会 シーカ・ジャパン(株)	
	ノンネットガードU-M工法	ノンネットガードU-T工法	
	機能性外壁改修工業会 シーカ・ジャパン(株)	機能性外壁改修工業会 シーカ・ジャパン(株)	
	エフ・ネットRE工法	リアネットE工法	
	機能性外壁改修工業会 シーカ・ジャパン(株)	(株)コンステック	